

胃癌手術における大動脈周囲リンパ節郭清の後方視野的解析 について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

大動脈周囲リンパ節転移を伴う進行胃癌に対し、抗癌剤治療導入後に根治的切除を実施する治療法がガイドラインで提示されており、当院でもこれまで積極的に実施しております。胃癌手術において腹腔鏡もしくはロボット支援下で実施される割合が増加しており、それに伴い大動脈周囲リンパ節郭清も腹腔鏡もしくはロボット支援下で実施する症例が当院では増加しております。今回、当院でこれまで実施されてきた大動脈周囲リンパ節郭清術の安全性と有効性について過去の症例から検証を行っていきます。

【対象】

2016年以降に当院で胃癌・食道胃接合部癌の診断で大動脈周囲リンパ節郭清を実施された患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

これまでの治療内容を集計することで、手術時の安全性や手術方法の違いによる術後成績の変化などを検証し、学会や医学論文で発表させていただきます。

【調査項目】

年齢、性別、胃癌の進行度、同時性、異時性、手術アプローチ、胃切除術、病理結果、手術合併症、再発部位、無再発期間、全生存期間

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2016年1月1日 ～ 2023年8月31日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 消化器外科 杉村啓二郎、勝山晋亮

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 消化器外科 杉村啓二郎

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

杉村 啓二郎

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail: sugimura-keijiro@kansaih.johas.go.jp